

**今年も、パイン・マンゴー収穫の時期がやってきました！
西表島パイランドファームより、パイン・マンゴー全国発送致します。**

西表島パイランドファームって？

西表島の南東側に広がる農場です。

東京ドーム15個分の面積があり、パイン・マンゴーの栽培が行われています。農場内には小さな加工所があり、採れたての果実を使った加工品・ドリンクやお菓子なども作っています。また、ご予約頂ければ、トラクタートレインに揺られ、農場内を見学することもできます！時期により、スナックパインやピーチパインなどパイナップルの収穫体験も出来ます。（こちらも要予約！）



西表島ってどんなんとこ？

由布島【ゆぶじま】編

由布島は西表島の東にある、周囲2.15kmのちいさな島。島の中には、植物園になっていて、その島へ渡る手段は水牛車!! 水牛って、恐そうなイメージありませんか？でも、何もしなければ穏やかで、池の中で休んでいる姿や、鳴き声がとってもカワイイんですよ！そして、その水牛にも負けないくらいの可愛さを持つ、おじい・おばあが、島の説明や三線を弾いてくれます。まさに癒しの島です☆西表島を訪れる事があれば、ぜひ訪れてみて下さい。「遠くてなかなか行けないわ。」というお方の為に、写真載せておきますね！



マンゴーの子ども



写真を見て皆さんはどう感じますか？マンゴーがいっぱい！だけど、この子どものマンゴーたちは1～2個残るように間引かれてしまいます。理由はマンゴー全部を育ててしまうと樹に負担が掛かりすぎて、翌年花が咲かなくなってしまうんです。なので、1つの房で選りすぐりの美味しいマンゴーを残していきます。これを摘果といいます。ただいまこの作業の真っ最中！もうこの時点で美味しいマンゴーの選抜が始まっているんです！！

パイナップルの子ども



こちら、つかんでいるのは、パインの子どもたち。このミニチュアパインの苗が野球のグローブ程の大きさに育った時、親株から引き離して、それをそのまま地面に直接植え付けます。2年後にはこの写真同様に実をつけて、そして、たくさんの苗をつけます。それを毎年繰り返していくのです。優良のパインの親株から採取した苗たちが優先的に植えられていきます。美味しいパインの選別も厳しいですよ。

こんな、出ましたけど…



セマルハコガメといいます。

“迫る”ハコガメではありません。迫ってはきません。

“背丸”ハコガメという意味です。おじいちゃんのような風体のこのカメにはぴったりの名前がつけられています。イリオモテヤマネコ同様、天然記念物ということですが、パイン畑でたびたび見かけます。黙っていれば見つからないのに、近くを通ると“シャーッ”って鳴くんです。(怒ってる?)一度、ハコガメがパインの木によじ登っているのを見たことがあります。(普段は昆虫やミミズ、動物の死骸などを食べているようです。)とても珍しい光景でした。パインを食べるなんて、おじいちゃんきっとお腹が空いてたんでしょうね。



ハルサーのつぶやき

あとがき

四月に入り、曇りや雨のパツとしない天気が続きましたが、ようやく明るくなってきた今日この頃です。パインもようやく甘さがのってきて、酸味とのバランスがとれてきました。収穫量も増え、夏に向かってまっしぐらといった感じです。そして、無事みなさまにパインをお届けする事が出来、スタッフ一同ホッとしています。そして、パインランド新聞No.2が出来上がった事も、ホッとしています。

平成25年4月1日 編集長：林

西表島パインランドファーム スタッフのご紹介！



西表島パインランドファーム
〒907-1432 沖縄県八重山郡竹富町字古見 1198
TEL: 0980-85-5586
(電話受付：日曜日～土曜日 9:00～17:00)
FAX: 0980-85-5113